



# あさひ

学校だより10月号  
令和2年9月30日  
横浜市立旭小学校

昭和34年4月18日制定

<旭小学校ホームページ> 随時更新しています。ぜひご覧ください。

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/asahi/index.cfm/1.html>



## 「読書の秋」

学校長 高桑 透

少し冷えた秋の空気が心地よい時期となりました。いよいよ秋本番。この季節は物事に集中して取り組むことに適した時期で、芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋など、様々な秋の取組があります。今年に限れば、「春」や「夏」については、いろいろな制約があり、それぞれの季節を楽しむことができなかつたかもしれません。「秋」については、少しでも良さを感じて過ごして欲しいと思っています。

さて、秋の取組の中で、読書に一番適した季節であるということから由来する読書の秋。中国・唐代の文人である韓愈（かんゆ）が残した詩の中に「燈火（とうか）親しむべし」という一節があります。

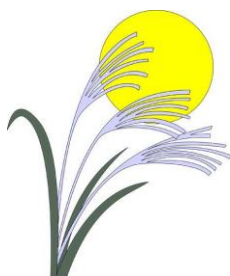
その意味は「秋になると涼しさが気持ちよく感じられる。そんな秋の夜長はあかりをつけて本を読むのに適した季節である」ということで、韓愈が息子に対して勉強を勧めた言葉として知られています。この言葉が「読書の秋」という言葉の由来とされています。

何年も前から子どもの活字離れや国語力の低下、対話による問題解決能力の低下などが指摘されています。読書活動はこれらの能力を高めるだけでなく、豊かな心と確かな学力を育むための大切な取組として重要性を増しています。読書活動は子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

今の時代は、テレビやゲーム、スマートフォンなど、読書以外に子どもたちを魅了するものがたくさんあります。今の社会ではこれらをすべて否定することはできません。ですから、なおさらこれらの使用方法をご家庭できちんと確認しながら、「ゲームもいいけど読書も楽しいよ。」と両者が上手に共存できる方法を探ってみてはいかがでしょうか。

子どもにとって読書は想像力や考える習慣を身に付けるよい機会です。ぜひご家庭でも継続して読書を楽しませてください。日頃から本を身近に置き、時間を見つけて読書する習慣を身に付けてほしいと願っています。

子どもたちに読書の魅力を伝えるために、ご家族が本に親しんでいる姿を見せることはとても有効です。例えば、保護者の方が小学生のときに読んでいた本を紹介することや、同じ本と一緒に読んで感想を伝え合うことも、本に親しむきっかけになるでしょう。また、曜日や時間を決めて、家族そろって読書をする時間を作るのも良いと思います。「読書の秋」は子どもたちだけのものではありません。忙しい毎日の中で、ちょっとした時間をつくり、みなさんで「読書の秋」を楽しんでみませんか。



### 10月の取組目標

生活目標	落ち着いて生活をしよう
保健目標	目を大切にしよう
清掃目標	廊下や手洗い場をきれいにしよう
給食目標	食事の前後の過ごし方を工夫しよう